



不祥事根絶に向けた取組

すべての教職員は、子供たちや保護者、地域の皆様からの信頼を失うことのないよう、法令・社会の規範やルールを遵守し、強い使命感と高い倫理観をもって職務を遂行し、「チーム鹿嶋」・「オール中西」で、不祥事の根絶と服務規律の確保に努めます。

『鹿嶋 PRIDE』

か：かがやく笑顔あふれる 子どもたちのために

し：信頼される教職員として、一人一人が自分事ととらえ

ま：守ります コンプライアンス 人権

信頼される学校・教職員であるために、以下の取り組みます。

体罰・不適切な指導の根絶

公金等の不正処理等の根絶

飲酒運転の根絶

個人情報漏洩・紛失・盗難の未然防止

盗撮を含むわいせつ行為等の根絶

交通法令違反・交通事故の防止

ハラスメントの未然防止

〈未然防止(不祥事根絶)に向けた取組〉

- 1 「本校から不祥事を起こさない」という強い決意を全教職員がもち、教育公務員として自覚ある行動をします。
「自分は大丈夫」と過信することなく、同僚性を活かし、職員一丸となって不祥事根絶に取り組んでいきます。
先を見通して行動することにより、時間的な余裕・心的なゆとりがもてるようにします。
- 2 計画的なコンプライアンス研修を実施します。
不祥事根絶に向けて、信頼される教職員であるために上記の項目について、研修計画に基づき、ボトムアップ型とトップダウン型を組み合わせた「自分事」研修を実施します。
「チェックリスト」をもとに職員が定期的に自分自身を振り返る機会を設けます。
- 3 管理職と職員との定期的な個人面談を実施します。
個人的な悩みやストレスが不祥事の遠因にならないよう、管理職が教職員一人一人との面談を通して、教職員を支援します。
- 4 不祥事が起きにくい環境をつくります。
 - ・ 更衣室やトイレ等の点検、資料室等の整理・整頓を行い、違和感に素早く気付けるようにします。
 - ・ 書類やデータ等の取扱いや机上の整理・整頓に努め、個人情報の管理に努めます。
 - ・ 児童に助言や説諭等をする際には、複数で対応をすることを基本とします。
 - ・ 授業や学校行事等の記録においては、個人所有の端末等は使わず、学校備品を使用します。
 - ・ 複数の職員で相互チェックが働く体制を整えます。
- 5 風通しのよい職場環境づくりに努めます。
「一人でしない 一人にしない」を合い言葉に、互いに声をかけ合う教職員間の関係を大切にします。他の職員の言動に違和感や疑問を抱いた時に相談しやすい職場の雰囲気づくりに努めます。情報を共有したり、立場や年齢に関係なく、互いの言動について指摘し合ったりすることができる信頼関係を築きます。
- 6 「人を大切にする」教育を推進します。
児童の人権を尊重し、一人一人を大切にされた教育を実践します。また、教職員自身も自分を大切にすると共に、他者(児童・家族・同僚・地域等)を大切にすることを常に心がけて、行動します。